

# 広報 かわぐち

No. 143 9月  
昭和60年

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場企画課  
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)



今年から加えられた種目、大なわとび競争。15人が一せいにとび、2分間に何回できるかを競った。  
〔写真は田麦山地区館〕

おもな内容	ふれあい種目に大歓声	2~3	成人式	7
	第3期山村振興スタート	4	国勢調査にご協力ください	8
	2学期から新校舎へ	5	スポーツコーナー	9
	消防団総合演習	6	お知らせコーナー	10~12

## 相談

### 精神衛生

- ▽日時 九月二十日(金) 午後一時三十分~二時間
- ▽場所 町総合福祉センター会議室
- ▽内容 小出病院精神科医長による 診察及び相談指導
- ▽具体例
  - ①ノイローゼ気味で眠れない。
  - ②すべてわずらわしくなくない。
  - ③学校や職場を休みがち。
  - ④酒びたりで乱暴をする。
  - ⑤年寄りのポケ

### 子育て

談ってください。  
幼児・少年期  
子どもの成長に関する事でお悩みの方は、どんなに小さなことでも結構です。ご希望の方は教育委員会(八九一三一一・内線三九)にお気軽にお申し出下さい。(個人の秘密は厳守いたします。)

### もめごと調停

(無料・秘密厳守)  
▽日時 十月十八日(金) 午前十時~午後三時  
▽場所 長岡自治会館 長岡市西神田町二~三二一

## 町敬老会

9月15日午前11時  
町総合福祉センター

### 関越自動車道全線開通記念 トランスポ'85新潟(モーターフェア)

▽会期 昭和60年9月27日~10月20日  
▽会場 新潟市(県庁となり)  
▽入場料 大人 1,000円(1,300円)  
高校生 700円(1,000円)  
小・中学生 500円(700円)  
幼児 200円(300円)  
( )内は当日券の場合  
▽発売場所 町役場企画課  
※抽選で数々の海外旅行が当たります。

### 相談担当者

新潟地方裁判所所属調停委員(県弁護士会同委員含む)  
▽もめごと相談内容  
①交通事故②土地建物の貸し借り、境界争い③商売上④金銭の貸し借り⑤血縁関係等なんでも相談可。  
▽その他 現に裁判所に係属している訴訟や調停事件の相談はお断わりします。

## 囲碁将棋大会結果

8月18日 末広荘

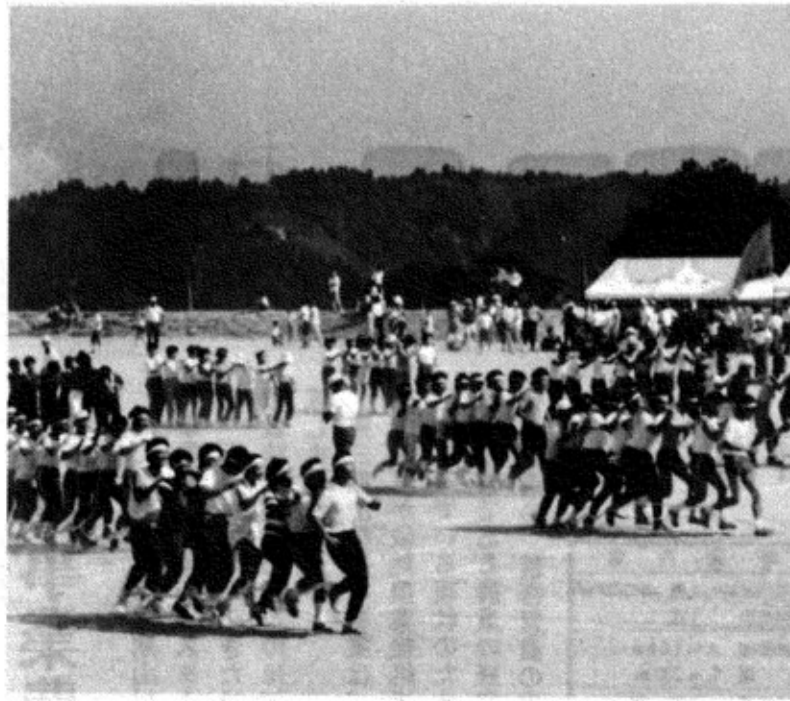
### 囲碁の部(敬称略)

総合優勝	上村喜平治
総合準優勝	星野敬太郎
A組 1位	星野敬太郎
2位	小山和夫
3位	大橋快泉
B組 1位	上村喜平治
2位	江島正直
3位	古田島淳治

### 将棋の部(敬称略)

1位	渡辺 誠
2位	畔上 誠
3位	星野 建一

人口	6,571人	昭和60年9月1日現在
男	3,232人	
女	3,339人	
世帯数	1,518戸	



▲ 7地区館一斉にスタート〔百足競走リレー〕



▲ 最終得点結果



▲ うまくとべたノ〔馬とびレース〕



▲ 最高の盛り上がり〔地区館対抗リレー〕



▲ 最初の種目〔障害物リレー〕



▲ 練習したんだけど……〔アベック二人三脚リレー〕

## 第27回町

# ふれあい種目

## 民体育祭

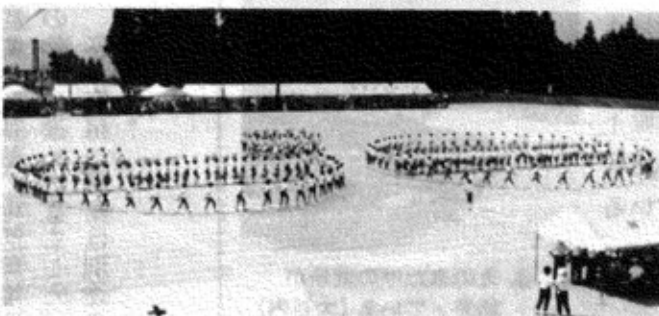
# に大歓声!!



▲ 勝負は時の運〔ジャンケンリレー〕



▲ 引っぱる前から勝負あった?〔綱引き〕



▲ 町内小中学生花そえる〔マスゲーム〕



▲ なかなかうまい〔水くみリレー〕

## 西川口が圧勝

### 木沢、大健闘だ!!

〓 西川口地区館圧倒的な強さをみせ優勝、木沢地区館大健闘し二位に躍進〓

新種目大なわとび競争が加えられた第二十七回町民体育祭は、去る八月二十五日運動公園多目的広場において行われ、楽しい一時を過しました。午前九時、川口中学校ブラスバンド吹奏にあわせ、七地区館の代表者が入場行進。

開会において青柳町長は、「運動公園は好天に恵まれ、八月二十日現在、昨年比四〇〇増の七万人が利用している。今年と同公園利用者は念願の十万人を超えることは確実です。運動公園は今年、待望の宿泊施設（建設労働者研修福祉センター）の建設や家族旅行村調査など大きな事業が着手され、増々充実した公園となります。」

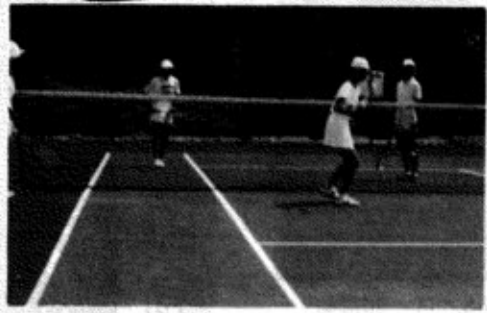
この町は君が住む町創る町をテーマに、スポーツを通じ、小・中学生が中心となり、「健康と心のふれあうスポーツの町」をさらに発展させていきたい」とあいさつ。

競技種目は、今年から加えられた①大なわとび競争や、②百足競走リレー③紅白玉入れ④綱引き⑤地区館対抗リレーなど各地区の心のふれあいを中心とした種目に大きな歓声があがっていました。

アトラクションでは、①鼓笛隊によるマスケゲーム②川口あおり太鼓演奏③トランペット鼓隊演奏④少年消防クラブ演奏⑤ブラスバンド演奏が花をそえ、盛んな拍手をあびていました。

午後三時三十分、猛暑の中活躍した参加者は、ベストを尽し、さわやかな笑顔で、マリーゴールドや葉鶏頭の咲き競う運動公園をあとにしました。

### 昨年比2万人増 利用者 町運動公園

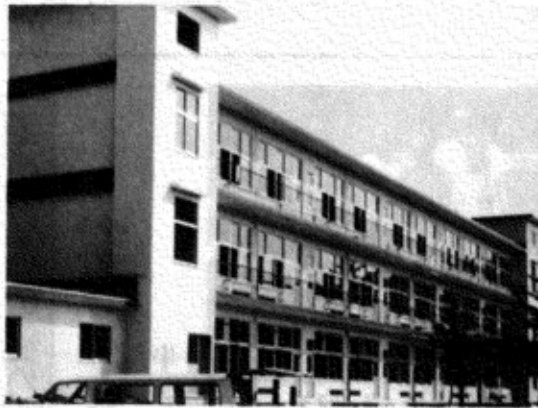


— 体育館使用は急増  
テニスも人気高まる —

今年の夏は全然雨が降らないため、運動公園の利用客は8月20日現在7万人を超えました。昨年比2万人の増となっています。

猛暑のためか体育館が人気となり、若者達が連日室内でバドミントンやテニスを楽しんでいます。屋外でのテニス、キャンプ場も年々人気が高まっています。活用センターは口コミの客が増加し、昨年比の倍の伸びを見せています。合宿状況を見ると、夏休みを利用して都内の大学や高校28校、31団体、4,340名が利用しました。

装いも新たに、生まれ変わった普通教室棟。川口あり太鼓や鼓笛隊で知られる川口小学校(笹川秀夫校長・児童数三百四十七名)の普通教室棟の化粧直しというべき、大規模改修工事が、このほど終了し、子供達は二期期から新しい教室で授業を始めます。写真外観はクリーム色を基調にウルトラマリン(ちなみに清流魚野川を連想させるはな紺色)をチェックポイントに取り入れ、気品高い校舎となっており、まるで新築そのものです。



### 普通教室棟大規模改修工事が完成

## 2学期から新しい校舎へ

川口小学校

## 校舎新築を祝う

田麦山小学校



112年の栄光の歴史にまた新しい1ページを作り、いつまでもきれいにし、人にやさしくできる大人になります。

田麦山小学校新築記念祝賀会(主催・同校新築記念事業実行委員会)が去る8月17日、同校体育館で行われ、児童や町、学

校、地区関係者ら250名が完成を祝いました。

新校舎は昨年12月に完成。校舎棟は鉄筋コンクリート3階建1,950平方メートル、体育館は鉄骨造一部2階建て総工費4億3千2百万円。式典は、佐藤同校

新築記念事業実行委員長のあいさつに始まり、新築までの経過が報告され、①前庭造成②ピアノ③校旗④国旗掲揚塔など12品目の記念事業目録が佐藤委員長から青柳町長に手渡されました。

祝辞において青柳町長は「学校は地域文化の中心であり、そ

の地域住民の心のよりどころである。地域の共有財産として大切に使用してほしい。また112年の栄光の歴史に新しい1ページを作るのは生徒諸君だ。学習への努力によってのみ精神的にも肉体的にも悔いのない大人になることができる。頑張してほしい」とあいさつ。

児童の喜びの言葉として6年生の代表が「新しい校舎に入れてうれしい。人にやさしくできる大人になるよう努力します」と感謝していました。

アトラクションでは子供たちによる郷土芸能・小高棒踊りや鼓笛隊演奏等を披露しました。

## 田麦山

# 第3期 山村振興スタート

### 年度別事業実施計画

事業年度	事業名	施行箇所	事業主体	事業内容
第1年度 (昭和60年度)	経営近代化施設 (えのきたけ生産栽培施設)	大谷内	田麦山きのこ生産組合	作業用建物 1棟 697.39㎡ 機械施設 1式
第2年度	圃場整備	岡平	川口町	区画整理 A=1.6ha 農道 L=230m
	生活安全保護施設	大形	川口町	防火水槽 1基 48t
第3年度	かんがい排水	前原	川口町	用水路 L=2,750m
	建 物	大形	川口町	共同作業場 1棟 207.36㎡
第4年度	生活安全保護施設	前原	川口町	防火水槽 1基 48t
	かんがい排水	曲沢	川口町	用水路 L=500m
第5年度	素材生産施設	田麦山	川口町森林組合	ホイルローダー 1台 ブルドーザー 1台
	建 物	前原	川口町	集会所 1棟 147.42㎡
第5年度	農 道	南原	川口町	農道 L=700m
	育苗施設	大形	田麦山水稲育苗組合	育苗施設 1棟 機械 1式
	集 荷 所	大谷内	川口町農協	集出荷施設 1棟 132㎡ 機械 1式
	生活安全保護施設	小高	川口町	防火水槽 1基 48t

## 総事業費は2億円

田麦山地区の第三期山村振興事業が、今年からスタートし、当年度は「えのきたけ生産栽培施設」が、このほど完成しました。

第三期山村振興事業は、田麦山地区が依然農業後継者不足に悩んでいる現状のため、基幹産業である農業の経営近代化を進め、複合営農の安定と所得の向上を図り、若者の定住を促進することを目的として実施するもの。おむね五箇年で実施され、ほ場整備や集会所、共同作業所の建設など総事業費二億円を予定しています。

## 複合営農 えのきたけ生産栽培施設が完成

プロ農家として歩み続けている田麦山きのこ生産組合(内山五作組合長)が、このほど「えのきたけ生産栽培施設」を完成させ、稲作プラスきのこ栽培の複合営農の確立をめざしています。

この施設は、町が進めている「田麦山地区第三期山村振興事業」の一環で、国・県の補助を受けています。建物は木造二階建七百平方メートル。一階は培養室、

発芽室、二階は抑制室、生育室、包装室があります。きのこの生育に応じて冷房装置を使い、室温をコントロール出来るすばらしい施設です。

生産は三戸、六人で従事します。

町のきのこ栽培は、県下第三位。特に冬季間の出荷が多く冬仕事に適しているため期待されています。

田麦山きのこ生産組合



▲えのきたけの栽培が始まっている(大谷内)

は第一期として生活改善センターや幹線農道等が完成。昭和四十七年度からは第二期として岩出地区ほ場整備、農道整備等を実施し、道路交通網、農業生産基盤、生活環境施設の整備を進めてきました。各年度毎の事業は別途の通りです。

# 成人式



▲ 平服によるさわやかな成人式  
8/15 (公園体育館)

猛暑が続くお盆の15日、運動公園体育館において第35回成人式が行われ、達齢者は地域社会の原動力となってゆくことを誓い合いました。

夏に実施されてから今年が3年目。出席者は、対象者108名のうち87名。参加者の服装は、いずれも軽装で、会場はさわやかさにあふれ若さがいっぱい。

式典では、希望に胸ふくらます若者に青柳町長は「君達は、日本の高速交通時代到来年に生れ、川口町の高速交通時代到来年に成人式を迎えるという、高速交通時代に困縁がある人達だ。未来は君達の手のうちにある。大きな勇気を持って町の発展に寄

与してほしい」と期待を込めあいさつ。

来賓を代表して小宮山副議長が祝辞を述べ、青柳町長から成人代表の橋井智美さん(田麦山)に記念品が手渡されました。

新成人を代表して渡辺正喜君(川口)と関竜子さん(西川口)の2人が「一躍先進町となった我が川口町を誇りに思う。独創性豊かな自分達の町を発展させるために責任と役割を果たしてゆきたい」と力強く、頼もしい謝辞を述べ、お礼として花束を町長に贈りました。乾杯時には大人の味にむせている女性もおり、微笑ましい光景の中「はたち。を祝い合っていました。

# 一斉放水に頼もしさ

## 町消防団総合演習



▲放水訓練をする町消防団 (8/11・川岸町)

「想定、火点前方の赤旗、水利右後方自然水利、手びろめによる二重巻ホース、二線延長」力強く、頼もしい声が聞こえる演習会場。

町消防団総合演習が、去る八月十一日(日)川口中学校グラウンドにおいて行われ、日頃の訓練の成果を披露しました。参加者は町消防団員、来賓約三百名。

退職された小宮山さんをはじめ、二名の方に対し町から感謝状が、団員七十一名に各部門から表彰状がそれぞれ手渡されました。

現在町の消防団は六つの分団に別れ、各地区毎に訓練しています。

団員は猛暑の中、広井新団長の指揮のもと、自動車ポンプ二台、小型ポンプ二十四台が、「ポンプ操法」、「放水演習」に取り組み、有事の際に活躍される期待感と頼もしさを感じさせました。

このあと永年消防団幹部として活躍され、このたび

## キャンプで真夏の夜を

# エンジョイ

—中山高原やまびこツアー—



=ジンギスカン料理を食べながらキャンプファイヤー、フォークダンスを楽しむ=

去る8月8日・9日の両日、運動公園中山キャンプ場において「やまびこツアー」が行われました。(写真)

このイベントは観光宣伝の一環として企画されたものです。参加者は猛暑の続いた夏に少しばかりの避暑と、テニスを楽しみながら、心なごむのんびりとした時間を過ごしました。なかでもキャンプファイヤーは、灯を囲んで全員で唱歌「ふるさと」を合唱し、4本の「たいまつ」への点火、「誓いの言葉」の朗読などが催され、明々と燃える灯に見入っていました。

長岡市から参加された親子づれは、「来年も参加させていただきます。」と中山高原をあとにしました。



▲ 歓声をあげながら楽しむ家族づれ

## 暑さも忘れ川魚を追う

### 川魚つかみどり大会

8/15・16 ヤナ場

暑さも忘れ、歓声をあげて川魚を追う家族づれ。

川魚つかみどり大会(主催・魚沼漁協川口支部、後援・町観光協会)も三回目を迎える十五、十六日の両日、炎天下のもと男山漁場で行われ、家族づれや観光客の飛び入りなど約七百名の参加者でにぎやかに行われました。

男山漁場の橋の下に幅十m、長さ約百mの仮設会場を設け、アユ、ハヤ、鯉、ウナギなど一回毎に数千匹が放され、四回に分けて行われました。

スタートの合図で一せいに飛び込み、歓声をあげながら夢中で魚を追いかけていました。上手な人は両手いっぱい、に収穫袋をさげて得意満面の顔……。

収穫の少ない人も、主催者側から錦鯉のサービスを受けて大喜びでした。



▲ ヤナ場にて(7/27)

## ふるさとへの旅

### 東京からの便り③

牛ヶ島会会長 清水嘉吉

今年三月九日第二回東京川口会役員会で定められた「ふる里訪問の旅」が、七月二十七日・二十八日に実施され、

初日は昼食を鮎の名所男山漁場(ヤナ)で涼風に吹かれ、語りながら腹づつみをうち、帰宅途中、肥育牛委託事業を見学した。

午後五時三十分、川口町歓迎交換会に臨んだ。始めに青柳町長より歓迎の辞と町政について話され、引続き清水

嘉吉代表の謝辞と交換会の重要性についての話しがあり、懇談会に入った。その後町の案内により花火をバックに民謡の祭典やお祭広場のカラオケ大会、夜店等を見物。翌日朝九時町役場に集合。マイクロボスにて故郷の美しい山河を眺めながら町内各所を見学、昔の思い出話に花咲き賑やかに楽しく回遊した。運動公園で食事後自由参加で川口祭りの武者行列、あおり太鼓、夜は万灯行列、大民踊流しを見学。町の発展の姿を見ることができ、有意義な一日を過ごすことが出来た。

## 飯山線を守ろう

### 県議団来町



廃止対象路線の地方交通線(飯山線等)を守ろうを合言葉に、社会党県本部の国鉄地方線対策特別委員会(今井敬弥委員長)一行9名が、去る8月20日川口町を訪れ飯山線の実態調査を行いました。

(写真)

当町からは町をはじめ、町商工会、町教育委員会が応待にあたり、長野鉄道管理局の見解では飯山線は存続するとの内容を話し、飯山線の現状を説明し終了しました。

### スポーツの町宣言

#### 9月・10月上旬行事予定

##### 野球

- ▽町長杯争奪野球大会 (ベスト8によるトーナメント)  
9月1日 AM8:00~ 運動公園
- ▽協会長杯野球大会  
9月8日 AM8:00~ 運動公園  
~29日まで
- ▽少年親善野球大会  
9月29日 AM9:00~ 運動公園

##### テニス

- ▽軟式テニス大会  
10月6日 AM8:00~ 運動公園

##### ソフトボール

- ▽東部地区館ソフトボール大会  
9月15日 AM7:00~ 運動公園
- ▽地区館対抗ソフトボール大会  
10月6日 AM8:00~ 運動公園

##### ゲートボール

- ▽町長杯争奪ゲートボール大会  
9月25日 AM9:00~ 運動公園  
※申込み問い合わせは町教育委員会へ。

### 北信越中学陸上



## 渡辺 400m で優勝

### 大会タイ記録

陸上では、川口中学校創立以来初めての快挙に関係者は大喜び!!

渡辺勝君(中山・一男氏長男・三年)は、八月六日、北信越中学校総合競技大会陸上競技大会(福井県福井市)四百メートルにおいて大会タイ記録で優勝という快挙をなしとげました。(写真)

低迷を続けていた川口陸上

会は大喜び。

渡辺君は、全日本中学校通信陸上競技大会新潟県大会(七月十八日・柏崎市)四〇

メートルで優勝。県中学校陸上大会(七月二十九日・三十

日・長岡市)でも二百メートルで三位という良い成績をお

さめ、北信越大会でも活躍が期待されていました。

指導にあたっている武田先生は、「渡辺はまだ未完成の部分があるが、練習熱心だからこれから先が楽しみだ。」と話してくれました。

### 野球

#### 町長杯争奪戦

#### ベスト8決まる

- ①川口町役場
  - ②カージナルズ
  - ③嘉富町ファイターズ
  - ④生越キラーズ
  - ⑤バイレーツ
  - ⑥タイガース
  - ⑦インディアンズ
  - ⑧西川口球友会
- ※九月一日、運動公園で決勝トーナメントが行われます。ふるってご声援ください。

# 国勢調査

## にご協力ください

### 10月1日〔9月24日~10月7日〕

## 1 調査日

10月1日

## 2 もし、国勢調査がなかったら

各地区の国勢調査員が各戸にお伺いします。その際に調査票と記入方法を示した「国勢調査についてのお願ひ」を一緒にお配りします。数日後

- ①議員の定数が決められない
- ②地方交付税交付金が均等に配分できない
- ③過疎地域対策ができない

回収に伺います。

### 調査票の記入の仕方 マークシート方式



- ▽身近な生活における問題
- ①老後の対策が立てられない
- ②災害の対策に不備が生じる
- ③快適な生活環境が整えにくくなる
- ④美しい町づくりができない
- ⑤雇用、青少年、交通、保健、学校教育等の各対策ができていくなくなる

- ③記入間違いは消しゴムで消しましょう。
- ▽調査は十七項目
- ①氏名②男女の別③出生の年月④世帯主との続柄⑤配偶の関係⑥国籍⑦就業状態⑧所属の事業所の名称及び事業の種類⑨仕事の種類⑩勤めか自営か⑪従業地または通学地⑫世帯の種類⑬世帯員の数⑭住居の種類⑮居住室の数⑯居住室の畳数⑰住居の建て方

## 3 調査するじょう

### わかるじょう

- ▽今回調査の意味
- ①行政に大きな影響を与える人口の高齢化
- ②大都市への人口集中の動き
- ③望まれる新しい行政施策

## 5 調査結果の公表

- ①昭和六十年十二月↓県・市町ごとの男女別人口を速報
- ②昭和六十一年五月↓主要結果の速報。その後集計完了しだい公表

## 4 調査票は

### マークシート方式

- ①記入方法は、黒鉛筆を使用し、調査票に印刷された二ミリ×四ミリの枠□に
- ②記入していただく。
- ③調査票は折ったり、曲げたり、破損しないでください。汚したり、ぬらしたり、異物を付着しないでください。

## 6 調査の歩み

- ①大正九年に第一回を実施
- ②大正十一年従来十年ごとの実施を五年ごとに改正
- ③指定統計第一号として誕生
- ④統計以外にデータは使われない。
- ⑤今年第十四回目となります。

## 中越学童軟式野球大会 西川口球友クが3位

8月24・26日……長岡市

たくましさや友情を育てる第一回中越学童軟式野球大会は、去る8月24日・26日の2日間、長岡市で行われ、西川口球友クラブが3位入賞と大健闘しました。

西川口球友クラブ(小西亨監督・発足7年目・部員数27名)は、郡大会(6月・小出町)、魚沼大会(7月・六日町)を勝ち進み、中越大会において南小イーグルス(加茂市)に快勝。準決勝は子供達あこがれの悠久山球場で、対戦相手は十日町ファイターズ。先発メンバーの一人ひとりの名前が球場全体に響きわたるとさすがの現代っ子も興奮さみ。惜しくも敗れ3位となりましたが、運動公園の専用野球場での練習の成果が出たようです。

## 奉納子ども相撲大会

和南津地区館



失われかけた地域のふれあいを子ども達を通じ呼び戻そうを合言葉に、和南津神社奉納子ども相撲大会が、去る八月二十七日神社境内で行われ

参加者は和南津地区の保育園児から中学生までの男女、八十名。

家族全員が応援にかけつけ熱烈な声援ぶり。参加した子ども達には、がんばったで賞や、ずっけ賞などが送られ盛んな拍手をあびていました。

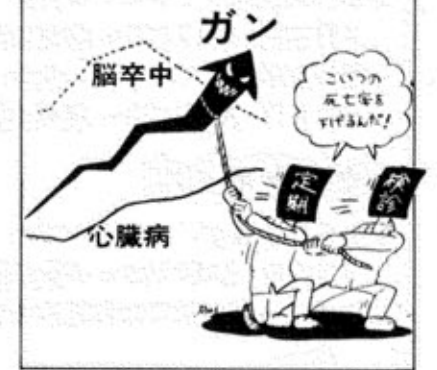
おわび

ファミリーマラソン結果のBコース優勝者は、樋口幸夫(泉水小)でした。

健康シリーズ②④

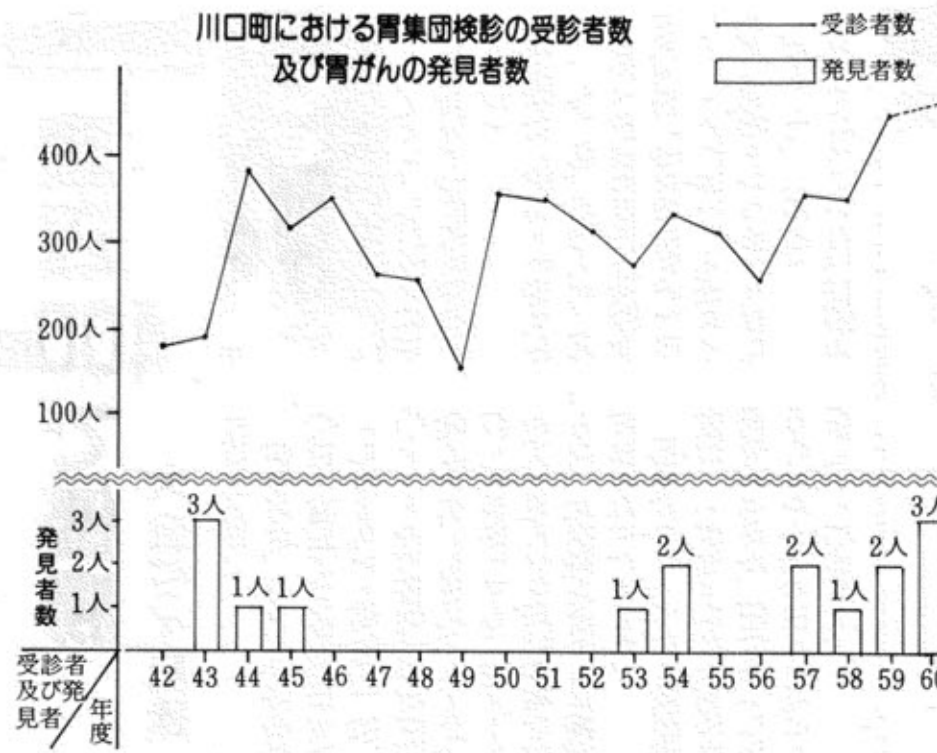
# がん

9月はがん征圧月間



## 定期検診を受けよう

体はじょうぶの方だから心配ない。忙がしいから、バリウムがいやだからなどで検診を受けない人が多くいます。万一早期がんがあったのに精密検査を受けなかったら、その後進行がんとなり、あら助かる命を、自分でちぢめることになりかねません。日本人に一番多いのは男女とも圧倒的に胃がんで世界第一位となっています。子宮がんも多い方で、肺がんや肝臓がんが非常な勢いでふえていくほか、乳がんもジリジリエて続けてきました。



## 木沢「土の子」がいた!?

実はからすへび



今年の夏は猛暑の連続で生物にも異常な夏であったようだ。木沢のHさんは龍光に向う倉曲りで草刈りをしていたが、もう日も暮れたので帰ろうとしたら、真黒いへびがとびついて、鎌にからみついていた。「クルクルととぐるを巻いたかと思うと、びよんととんだ」。まむしだと思っつかまえようとしたが、はしっこくてつかまらなかったが、ようやく苦労してやっとつかめた。(写真)

家に帰って一升ビンにつめたのだが、この話を聞いた木沢の衆は「そら、野づつだこてや」「いや、土の子だ」と言うことになった。早速、北魚沼理科センターの今井先生に見てもらったことになった。今井先生は、「これはめずらしい」と日本は虫類学会の杵淵謙次郎先生に調べてもらうことになった。

さて、土の子ではないかと言う期待を担って新潟へ運ばれたへび君、この程、決断が下った。

(1)しっぽが長くて、ひとみが丸いのでまむしでない。

(2)あごの下のうろこが細かくて沢山あるのでやまかがしでない。

(3)腹の下のうろこの数が十枚なので青だしいしうでない。

以上の消去法でゆくとシマへびに似ているがシマ模様がない。しかしシマへびの黒化型にからすへびがいるので、これだろう……と言ったことになった。

からすへびは伊豆の大島に多く、県内では津川に一件の報告のある珍らしいへびのことであった。一般にとぶことはないが、驚いた時にはとぶことがあると言われている。

110番 集中運用

高速交通時代に入り、年々広域化する犯罪に対処するため、九月二十六日から110番電話は警察本部通信指令室で集中運用されます。非常の場合は、いつでも110番電話を活用してください。電話のかけ方はいままでと同様です。通報を受理すると、ただちに受持ちの派出所、駐在所へ通報されます。

ローカル線を 利用しよう

現在、上越線上下十九本、飯山線上下十一本を運行していますが、上越線で見ると昭和六十年四・七月の平均乗車率は五四%です。越後川口駅資料による年間乗車人員は、昭和五十年に二十八万一千人が、昭和五十九年は十七万三千人と大きく落ち込んでいます。鉄道を守るためにローカル線の利用をお願いします。

ビニール 飛ばさないで

国鉄浦佐電力区 国鉄越後川口駅 毎年台風の季節になると、ビニール等が架線に絡み、架線事故を起こしています。特に新幹線での、その被害は膨大となります。線路周辺に散在するビニール等は、風で飛ばないように縛るなど配慮をし、列車の正常運転にご協力ください。

9月1日からシートベルトの着用が義務づけられました



道路交通法一部改正されました

- ① シートベルトは必ずしめる
- ② 迷惑騒音運転の禁止
- ③ 自動二輪初心運転者の二人乗り禁止
- ④ 原付車もヘルメットは必ずかぶる
- ⑤ 原付車の2段階右折(自転車と同じ)
- ⑥ 違法駐車車両の処分
- ⑦ 初心運転者の違反講習

**胃集団検診**

- ・ 検診日 11月5日・6日・30日
- ・ 検診場所 役場
- ・ 個人負担 1,100円

※ 問い合わせは町民課へ

- ガンの危険信号 8箇条**  
—日本対ガン協会制定—
- ガンは無症状のうちに芽ばえます。つぎのような症状があったら、直ちに専門医に診てもらいましょう。
1. 胃…胃の具合がわるく、食欲がなく、好みが変わったりしないか。
  2. 子宮…おりものや、不正出血はないか。
  3. 乳房…乳房の中にシコリはないか。
  4. 食道…のみこむときに、つかえることはないか。
  5. 大腸、直腸…便に血や粘液がまじったりしないか。
  6. 肺…咳が続いたり、痰に血がまじったりしないか。喉頭…声がかすれたりしないか。
  7. 舌皮膚…治りにくい潰瘍はないか。
  8. 腎臓、膀胱、前立腺…尿の出がわかったり血がまじったりしないか。

町の胃集団検診状況を見ると昭和四十三年に三人の胃がん発見者があり、その後ないですが、昭和五十七年頃から発見者が増加し、昭和六十年度は特に多く発見されています。町内には現在四十歳以上の受診対象者は二千四百人おりますが、その一六%の四百人程度の受診者しかありません。検診を受けている人の中からのがん発見率は非常に高くなっています。事実、昭和五十七年に広神村は、ハガキによる受診勧奨を徹底した結果、五人の胃がん患者が発見され、そのうちの四人は初回受診者でした。町では受診率、三〇%を目標としています。がんは早期発見すれば治ります。かかったら怖いのでなく、手遅れになったら怖い病気です。四十歳を過ぎた方々は、自分だけの体ではありません。家族みんなの大黒柱です。子どもを不幸にしないためにもぜひ検診を受けてください。